



B班

施設名 若葉緑地
機能 集会・交流
 子育て・運動
活動メニュー プレイパーク・キャンプ
 多世代憩いの場
効果と工夫 要駐車場
 収益を得る
 (施設料・駐車場)
 市民バス発行
 若葉町民優遇

施設名 第九中学校
機能 福祉施設・図書館
 文化交流・集会
活動メニュー 図書館・投票場
 ダンス・体操・食事
 語らい・働く場所
効果と工夫 若葉会館 児童館
 (耐年数越え)の統合

施設名 旧若葉小学校
機能 集会・交流・文化・学習
 運動
活動メニュー 芸術家の活動スペース・美術館
 フェリス・カフェ・レストラン
 (道の駅)
 防災拠点
 サークル活動・学習室
効果と工夫 自主運営
 「思い出のたくさんあった校舎をずっと残していきたい」

施設名 若葉公園
機能 運動
 集会・交流
活動メニュー お祭り
効果と工夫 若葉町の
 みんなが集える

施設名 若葉台小学校
機能 集会・交流
 学習・文化
活動メニュー サークル活動発表
 考案(習事)
 すずかけホール有効活用

全世代が 顔見知り

ハードもソフトも
バリアフリー
なまち

複合施設

こだわりポイント
個性や特技を発揮できる場所を作る

実現あるための工夫
 お金が発生し自立できる仕組み
 今ある施設を可能な限り利用
 古い → とにわか
 昔ながらの校舎の味を残して!!

岩本・角田
 田中・名取
 砂賀・佐吉
 岸野



みどり豊かな文化芸術が薫る

みんなが繋がる街

大人が生き生きしている姿が子どもの夢に
つぼめる

こだわりポイント①

旧若葉小学校 10年間使い切り！

機能 ・文化・学習・集会・福祉・子育て・運動

アートエ 芸術祭開催！



体育館/バトマス



郷土食堂



農産物
直売所



ゲテモノ・寺子屋

若葉町のお祭り。お祭り練習場・防災設備



こだわりポイント②

UR若葉町団地

とのコラボレーション

旧若葉小アートエ 楽器練習の場

近隣美大音大生への開放

地域活動の参加企画

発表の場

清掃工場

駐車場・タムス
(若葉1クワッド)
有効利用・収益

若葉台小学校

屋上プールの一環開放
(有料)



こだわりポイント③ グリーンセンター

- 校となる 若葉会館 東部連絡所 (若葉図書館) を街の中心に置く
- 将来 周辺の用地を取得し、大きな土地/施設にする
- 清掃工場跡地を売却し、公共施設全体の敷地面積を削減する



伊藤 榎本 小林

山本 酒井
渡辺 松崎

C班 玉王



みんながつながる 住む人が輝くまち

施設名 清掃工場(グリーンセンター)
機能 集合(グリーンセンター)
活動メニュー 防災(防災用バンチャトイを公園に) 置き物交流(旧若葉小校舎を利用して、子どもから高齢者まで利用できる空間 体育会館はホールと利用 クラウドはキャンプ場として活用) 公園(清掃工場跡地に若葉緑地を併せて市内で注目された公園)

効果 果 夫 女 工 夫 女 子 ども 高 齢 者 文 化 交 流 学 ぶ あ う 町 民 間 委 託 し な い

皆んなでつくる

施設名 若葉会館 若葉図書館
機能 若葉会館-生涯学習の場 -カス併設-調理室の充実 若葉図書館-読書できるスペース 若葉会館-車イスでの参加可能に 高齢者の生きがいづくり 文化交流・学ぶあう町 若葉図書館-学習の場-講習会開催 -子どもの学習向上 若葉会館-利用しやすくする カラオケ趣味の会等、小単位での利用できる室をたくさん 若葉図書館-若葉小、中との連携を計る 若葉会館-住民本意の行政サービス

効果 果 夫 女 工 夫 女 子 ども 高 齢 者 文 化 交 流 学 ぶ あ う 町 民 間 委 託 し な い

施設名 若葉児童館 若葉学童保育所
機能 子育て 福祉 学習
活動メニュー 子育て広場(交流・相談) 子育て広場 コース 各世代の居場所(サークル) 様々な体験会(年齢・性別・障がい) 居場所の発見(場所) 子育ての悩み軽減 自己肯定感を育む、子育ての悩み

効果 果 夫 女 工 夫 女 子 ども 高 齢 者 文 化 交 流 学 ぶ あ う 町 民 間 委 託 し な い

施設名 若葉公園・若葉緑地
機能 いろいろな事ができる公園 危険性のない公園 スポーツ・野球・サッカー等が楽しめる 緑豊かな子供と大人が一緒に楽しめる公園 公園の中外には、バリアフリー 段差をなくして車いすでも利用できるように、アスファルトのバス停を設置して(しるし) 休みの日、家族で遊びたい、公園の中は防犯カメラや、安全な場所がある場所 ほしい!

効果 果 夫 女 工 夫 女 子 ども 高 齢 者 文 化 交 流 学 ぶ あ う 町 民 間 委 託 し な い

施設名 九中若葉台小
機能 建物近代化と充実 広々とした図書館 放課後の子どもの活動ルーム 市民バブルも活用できるホール 音楽ホール、文化講演会等
活動メニュー 放課後の宿題ルームを設け、子ども支援を行う。 市民に開かれた学校としての活動を行う。 子どもの学力向上の底上げを行う。 文化向上、充実としての学校図書館を活用する。 若葉会館・若葉小にむける市民意識を高める。

効果 果 夫 女 工 夫 女 子 ども 高 齢 者 文 化 交 流 学 ぶ あ う 町 民 間 委 託 し な い

施設名 道路・通行
活動メニュー くるりんバス復活 歩道の改修 町内巡回ルート(車)交渉 ①東西路線の線とも便利 ②車イスで出掛けやすくなる ③スーパー、会館等々になる

効果 果 夫 女 工 夫 女 子 ども 高 齢 者 文 化 交 流 学 ぶ あ う 町 民 間 委 託 し な い

《こだわりポイント》

- ・子どもの学力向上
- ・高齢者の生きがいづくり
- ・文化・交流・学ぶあう町
- ・民間委託しない

《実現するための伏》

- ・学校図書館の開放
- ・施設人のアセスの確保(くるりんバス・立地)
- ・学校の放課後の空教室の活用

- ・佐藤
- ・友利
- ・星野
- ・あまの
- ・高木
- ・尾崎

D

UR団地再生計画 ● +
団地を再生
にゆいぽう
事です。
若葉町まちづくり・公共施設再編
若葉町まちづくり・UR団地再生計画 =
里山創造(職住一体)ライフスタイルの構築へ
みどり多き若葉町の20年後の未来に幸あれ

町議会云々

全町民による
民主制にのっとった
公的財産のオーガニ

若葉町

文芸塾

・国際交流の場
・国立音大・武蔵美
との交流
・自治会図書館

温泉
ファーム

おせ79を誘致し、
温泉施設と果園の
経営を立てる

ルネサス



石井大野
峰島村
越智小河

4. 第8回ワークショップ アンケート結果

(すべてのアンケート結果を掲載・原文ママ)

【ワークショップ参加者】

■ポスターセッションについて

- みなさんからの質問がまた自分の学びになりとても充実した時間でした。
- 各グループ「いいね！」と思えることが、ぐたいてきに沢山あった。みなさん熱い思いを語って下さっていて、印象的でした。
- 他の班のアイデアが見れて楽しかったです。
- 大まかな話がだんだん具体的になりました。
- 各グループの思いや発想を聞かせてもらいとても楽しかったです。若葉町がもっとみりよくてきな町になると良いな！と思いました。
- ワークショップの集大成のポスターセッションは素晴らしいものができたと思う。
- わかりやすく集約してポスターを作るのはむずかしいですが、楽しかったです。
- どの班も良く考えぬいた（未来について）ポスターができ上っていたと思いました。
- 他の班のセッションを見にいくタイミングがつかめずわかりにくい。一班ずつを全員で見る形式の方がよかったのではないかな。
- 若い方々が参加してくれてよかったと思います。
- 各グループの色々なアイデアがたくさんあり、楽しくなるようなポスターセッションでした。
- 皆さんのいけんさんこうになりたのしかったです。年代によってもねがいがちがうので、はばひろい年代の集まりが良かったです。
- 魅力的な I D E A を impact ある表現で表示に苦慮。
- これは思いがけなく良い取組をしていた。しばらく参加不可能。

■今までの若葉町まちづくりワークショップ全般について

- 若い世代で話し合えたことが意見が出しやすく良かったです。
- ポスターセッションの内容が、1つでも多く実現してほしいです。
- 長かったけど、最後まで楽しく参加させてもらいました。
- やっぱりプロの方が間に入るとすすめ方が合理的でいいですね。
- 毎回、時間があっというまに過ぎ、有意義でした。
- 地域の方々とのコミュニティー・意見交流の場として貴重な機会だったと思う。参加させて頂き感謝です！
- 広い世代のアイデアが豊富で、ためになりました。
- F班でしたが、とても有意義な意見がでました。

- 本来の目的を達成しているとは思えない。公共施設の再編に関して議論していない。
- 町づくり構想の基本は、町民がその「構想」に関心を持つことだと思います。そのために（関心を持っていただくためには）は、全世帯に「町づくり」構想の意見（案）をきくことです。町づくり構想への協力もそこがものをいうと思います。ワークショップの案におわらずに町民（全世帯の）アンケートをとることを行ってほしいです。
- 熱心な意見交換が毎回行われていたので、是非、地域の声を市は生かして下さい。
- 皆の思いやアイデアがいかされるのか心配だったんですが、この出されたアイデアを今後にかしてもらえたらいいと思います。是非よろしくお願いします。
- 良い仲間と出会えて、これでおわりがさみしいです。方向性が決まったら同窓会したいです。

■その他、感想やご意見など

- 若い世代（10代～）や子育て世代が参加しやすい方法、時間をご検討下さい。
- 若葉町を考える、とてもよいきかいになりました。参加して良かったです。ありがとうございました。
- 今日出た意見やアイデアが少しでも実現してくれたら嬉しいです。
- 長い間、本当にありがとうございました！
- 若葉が芽生えると思います。
- 皆様が若葉町のこと、未来のことを思いながら生活されていると感じました。
- ファシリテーターが若葉町の公共施設について知らなさすぎ。下調べくらいしてほしい。
- これだけみんながしんけんに熱く語り合い知恵を出し合ったのですから立川市さんよろしくたのみます！！市民の願いを叶えて下さい。保育士さんいつもちこくですみませんでした。お世話になりました。
- 時間で区切ってらしたが、壁の時計が正確ならもっと良かった。これで終わりにせず市と市民が協働して行きたい。

【第8回ポスターセッション 一般観覧者】

■若葉町まちづくりワークショップ「ポスターセッション」はいかがでしたか？

- 各グループ、夢のあるものから現実的なものも含めて、自由な発想が見られました。それぞれのこだわりポイントも様々で、今後のまちづくりにどのように活かされていくのか楽しみです。
- 各グループの成果（アイディア・思い）がつまっていて発表をきいているだけでワクワクすることができました。こうしたコミュニケーションからまちがつくられていくんだと感じました。
- 各グループ共、知恵を出されて結果が上手く表現されていたと思います。
- 若葉町に対する熱い思いをひしひしと感じました。どのチームの皆さんも、学生をまきこんだ民間を取り入れてお金を生み出す。（自分たちの意見を取り入れてなので、委託にしないというグループもありました）という2つの視点を重要視していると感じました。
- 地域の課題が良くわかる形で有意義でした。地域の運営を担わせるなら、事業化・収益化がないと続ける事はムズカシイと感じる。
- みなさんの若葉町に対する夢が、各班意外と共通している部分がありおどろきました。コワーキングスペースやアトリエ、工房など用途的に行政のバックアップが必要なコンテンツが多いので、実現できるような下地づくりを期待しています。
- みなさんがつながりをもとめていると感じました。
- 地域の皆さんの自分達の手でまちを作ろうという気持ちが伝わってきました。
- ご参加された方々の若葉町への想いの強さを感じました。多世代のつながりをつくろうという提案が多く、都市の人々が人と人のつながりを大切にしていることがよく分かりました。
- 各Gとても良く考えられているなと感心しました。自主財源まで確保できるよう工夫されていて、驚くほどです。皆さんの想いがどのように形になっていくのか楽しみです。
- 各班の個性がみえて良かった。
- 色んな提案が見れておもしろかったです。思っていたよりも色んな世代の方がいましたが、もっと子育て世代も参加しやすいとより良いなと思いました。
- 各班のみなさんが主体的に関わって、ポスター制作や発表をされていることが素晴らしいと思いました。

■その他、感想やご意見など

- この成果がどのような跡地活用につながっていくのか、これからの市の取組に期待しています。

- こちらのアイデアを実現する為に、是非市のお力が必要になるかと思います。
- 立川市社会福祉協議会の、若葉町、栄町地区担当の地域福祉コーディネーターをしています。皆さんの地域に対する思いが知れてとても勉強になりました。立川市と立川社協で取り組んでいる「地域福祉アンテナショップ」も、皆さんとこうして考えて実現して行けると良いです。（自分ごととして関わっていける地域づくりのお手伝いをこれからもさせていただければと思います！
- 多世代、多文化、創出でき多様性を生む地方のモデルになれるプロジェクトだと思います。
- 班ごとにプレゼンテーションしてもらう時間があると尚良かったかと思います。
- 人と人のつながりは場だけでなく、仕組みが必要だと思います。多世代が協力することで、町がよりよくなる仕組みを取り入れると良いと思います。
- 保育ママさんか、キッズスペースがあるなどの告知があれば、子育て世代の一般参加がしやすかったかも。
- 初めに各班のプレゼンをしてから、分かれた方が良いと思う。（一気に各班を見れないし、途中から説明を聞いてもイマイチピンとこない）
- 立川市の担当の方々が今日のような色んな提案を受け入れてくれる事業者を選んでほしいなと思いました。
- 民間を活用しようとする考え、活用しないとする考えの両方があり、民間企業に属する者としては大変参考になりました。



【ご協力いただいた学識経験者の先生】

東京都立大学 都市環境学部建築学科
助教 讃岐 亮 先生

若葉町まちづくりワークショップ報告書

令和 4(2022)年 8 月 発行

発行 立川市

〒190-8666 東京都立川市泉町 1156-9

電話 042-523-2111(代表)

FAX 042-521-2653

編集 総合政策部行政経営課